

大野一心

NO.12

令和3年9月8日（水） 文責：校長 諸熊 修一

学力向上の取組について

県学力調査（3年生：英語 2年生：国語・数学）、市学力調査（1年生：国語・数学）の結果を始めとして、8月末には全国学力量習状況調査（3年生：国語・数学）の結果が公表されました。

新聞報道でもご存じのとおり、県学力調査については佐世保市全体の結果は非常に厳しいものがあり、全国学力調査についても県の結果は全国平均と比べて低い結果が出ていました。本校においては、2年生で実施した県学力調査の数学が市の平均を上回っている以外は、残念ながらどの学年の教科も、市の平均を下回っていました。

本校では、昨年度まで「21世紀型学力向上推進プロジェクト事業」のもとで授業改善を行ってきました。今年度も引き続き、これまで取り組んできた仲間づくりや協働活動の基盤となるコミュニケーションの育成、学ぶための基盤となるリーディングスキル（文章に書かれている意味を正確に捉える力〈基礎的な読む力〉）の視点を取り入れた指導法の工夫を検討し、今年度から本格的に始まった一人一台端末（タブレット）の活用を研究に加え、取り組んでいるところです。

今後とも、以下の内容を日々の授業等に取り入れることによって、本校生徒の学力向上を図っていきたいと考えています。

◆生徒が正しく読むこと、授業者が正しく読ませることを意識する「リーディングスキル」の視点を取り入れた指導法の工夫

（例）・文章を読む際、キーセンテンスに線を引かせる。

・文章を読む際、指示語が指している事柄に線を引かせる。

・文章から読み取ったことを図や表を使って書かせる。 等

◆タブレットの活用

・ICT 機器研修

・研究授業における具体的な活用例の検討

・e ライブラリの活用 等

◆他者とコミュニケーションをとる協働的な学びの推進

・一斉授業だけではなく、ペア・グループ学習の工夫

・特別支援教育の視点から見た指導法の改善 等

◆学習プリント（学力調査の過去問題、県が編集している学習プリント）の有効活用

◆定期テスト・実力テストにおける問題の検討・見直し（今、求められている学力を問う問題への改善）



《保護者へのお願い》

学力向上については、小学校からのしっかりとした基本の定着とご家庭での励ましが基盤になってきます。ご家庭でも以下の点についてご協力をお願い致します。

（１）学習用具等の忘れ物をなくす

（２）家庭学習の習慣化

（３）スマートフォン等の利用における家庭でのルールづくり

（４）将来の夢や進路についての親子での会話